

全国県民カレッジ・市民カレッジの
運営状況調査結果

財団法人高度映像情報センター

全国県民カレッジ・市民カレッジの運営状況調査結果

1. はじめに

標記報告は、平成 16 年度 8 月に実施した調査アンケートに回答があった 31 サンプル(30 機関・大阪府は2事業回答)の調査結果をまとめたものである。調査対象は道府県の生涯学習センター及び教育委員会、政令指定都市教育委員会となっている。カレッジ事業の定義があきらかではないため、修了証の発行だけで単位認定がないところも含まれている。(詳細は別紙「全国県民カレッジ・市民カレッジの運営状況調査一覧」を参照)

2. 事業名称

事業名称に「県民カレッジ」「県民大学」もしくは「市民カレッジ」等を使って事業運営をしているところは 26 機関、単位(単位の詳細については別項)認定まで行っているところは 20 機関ある。

3. 自主事業と連携事業の割合

他機関と連携がなく単独で事業を行っているのは5機関のみ。残りはなんらかの形で他機関と連携している。うち地域の高等教育機関との連携は、22 機関(23 事業)と圧倒的に多く、残りは市町村教育委員会との連携である。

4. 事業開始年度

昭和 43 年度	1
昭和 60 年度	1
昭和 63 年度	1
平成 2 年度	1
平成 3 年度	1
平成 4 年度	1
平成 5 年度	1
平成 6 年度	2
平成 7 年度	1
平成 8 年度	1
平成 9 年度	4
平成 10 年度	2
平成 11 年度	2
平成 12 年度	2
平成 13 年度	2
平成 14 年度	2
平成 15 年度	3
平成 16 年度	2

5. 16 年度予算

予算については、場所の提供・広報の協力だけで予算面の計上なしと回答があった1機関除き、30 事業については予算化されている。金額は 260(千円)～21,939(千円)で全体の平均は 3,991 千円、単位認定を行っている機関の平均で 11,469 千円。

6. 自主講座、連携講座の割合

- 自主講座のみ 7事業
- 連携講座のみ 3事業
- 自主講座、連携講座の両方を実施 21 事業
- 自主講座、連携講座に放送大学、エル・ネットを加えたもの 15 事業

7. コース制の導入

コース制の有無についていえば、導入しているところは 16 事業、15 事業にはコース名称がない。コースのうち、ふるさと学・地域学など、地域学習はほとんどの事業に含まれている。職業能力開発に関連した事業は 12 事業あり、資格取得を目的としたものも含まれている。

8. 受講料

完全に無料なのは9事業。講座主催機関によって有料と無料のものがある事業は4、有料は 16 事業ある。受講料は安価なものは 300 円からあり、高いものでは8万円という講座もある。数千円といったところが主流。

9. 事業とインターネットとのかわり

まったくインターネットを活用していないのは2事業だけで、あとの 29 事業は何らかの形で活用している。うちインターネット上でコンテンツ提供まで行っていると回答したものが 14 事業と高い数値を示している。

- a. 広報 2事業
- b. 学習情報提供、学習相談 1事業
- c. コンテンツ提供 1事業
- a+b 11 事業
- a+b+c 6 事業
- a+c 2 事業

そのほか、a+b+c に加え、ネット上の人材バンクに登録するものが5事業、a+b に加え、講座の報告や受講者の感想を配信する予定と答えたものが1事業あった。

10. ボランティアの事業参画

ボランティアが運営に係わっている事業は 12、係わっていない事業は 19 事業。

11. 学友会・友の会等の有無

まったくなしと回答があったものは 21 事業。10 事業ではありと回答。

12. 単位認定

単位認定を行っているところは20機関あり、残り10機関(11事業)のうち、単位取得はないが、修了証のみ発行しているところは4機関(4事業)ある。

以上

全国県民カレッジ・市民カレッジの運営状況調査一覧

調査時期：平成16年 8 月

項番	自治体名称	事業名称	設置主体	連携協力機関とその内容	開始年度	16年度予算 (単位千円)	開設講座 (a.自主 b.連携 c.その他)	コース制 (有・無)	コース名	コース別講座数	実施機関別講座の内訳	年間受講者数	受講料 (有・無)	有 料 講座数	インターネット 活用事業 (有・無) a.広報 b.学情提供・ 相談 c.講座 d.その他	ボランティ ア等の 運営協力 (有・無)	単位認定 評価方法 卒業の仕組 などの状況	学友会・ 友の会 など (有・無)	特記事項
1	北海道	ほっかいどう生涯学習 ネットワークカレッジ事 業(道民カレッジ事業)	北海道教育委 員会(実施主 体:(財)北海 道生涯学習協 会)	無し	平成13年度	23,403千円	a(大学放送講 座＋スクーリ ング＋レポ ート).b.c(エル・ネ ット 年2回)	有		①104講座 ②135講座 ③189講座 ④108講座 ⑤414講座	・44団体 135講座(H15) ・早稲田セミナー札幌校(簿記3級 標準コース、資本書士講演会など) 北海道浅井学園大学生涯 学習センター ・北見情報ビジネス専門学校(パ ソコン検定講座、介護報酬請求 事務士など)(ファイナンシャル・ プランニング3級技能士、秘書検 定講座など)	大学、市町村、カルチャー センター、NPO、高 校、企業などとの連携講 座については受講者数 は把握できていない。主 催の大学放送講座のス クーリングは567人	有	各 関 係 機 関、団体等 がそれぞれ 徴収しており 把握できて いない。	a.b.c (ホームページで 広報、学習情報提 供、講座の案内 (配信)をしてい る。	無	○単位認定 学 士 100 単 位 43 人、修 士 200 単 位 17 人、博 士 300 単 位 5 人 ○卒業の仕組み なし ○学習成果の活用 学友会は検討中。 博士の講話講師活 用。	無	3年を終え、 人材育成を 目指した「ほ っかいどう 学」の取り組 みを進めて いる
2	青森県	あおもり県民カレッジ	青森県教育委 員会	(連携機関) 市町村教育委員会、市町村、県教 育委員会、県庁、大学、専門学校、 高校、民間カルチャー、民間企業、 体験施設、NPO法人、医師会 (講座の提供)	平成9年度	17,907千円	a.b.c	有	①教養交流コース (分野にとられ ず自由に学習)、 ②生活創造コース (「生活・福祉」分 野が中心)、 ③国際理解コース (「外国語・国際理 解」分野が中心)、 ④産業技術コース (「産業・技術」分 野が中心) ⑤ふるさとコース (「青森県の歴史・ 伝統」分野が中 心)	※コース毎ではなく、分 野別に掲載しました。 学術・教養(248)、趣味 ・芸術(1309)、スポ ーツ・健康(427)、生 活・福祉(170) 産業・技術(246)、 外国語・国際理解(9 7)、青森県の歴史・伝 統(129)、複合・総合 (118)	○講座数 100 ○内 容 (救急応急手当、家庭 看護、水上安全救助、幼児安全 支援)講習、(表計算、ワープロ) 検定取得講習、 医療事務検定取得講習、英検資 格取得講習、日商簿記検定取得 講習、「A・F・T色彩検定」取得講 習、 CAD利用技術者試験対策講習、 潜水士資格取得対策講習、企業 マネジメントセミナー 等 ○実施機関 消防本部、日本赤 十字社、民間企業、民間カルチャ ー、独立行政法人、高等教育機 関	※お答えできる範囲で 記載しました。 ○学生数 9, 174人(8 ノ24現在) ○年齢別学生数 ～ 9歳 43人 10～19歳 281人 20～29歳 325人 30～39歳 654人 40～49歳 1, 121人 50～59歳 1, 692人 60～69歳 2, 121人 70～79歳 2, 113人 80歳～ 578人 不明 246人	有	○1354講 座 ○民間カル チャー、民 間企業、市 町 村、大 学、独立行 政法人、第 三 セ ク タ ー、各種団 体、地域職 業訓練セン ター ○3, 000 円～15, 0 00円程度	a.b	無	○単位 講座(1時 間＝1単位)、ビデ オ(1作品＝1単 位)、テレビ・ラジオ (1番組＝1単位)、 施設見学(1回＝1 単位) ○評価 学習後、 学生証に感想等を 記入し、連携機関 及び事務局よりス タンプをもらう。 ○卒業 150単位 取得で卒業 ○活用 卒業生が 学友会を組織し、 自主講座等を運営 している。	(東青学友 会、中南学 友会、西北 学友会、三 八学友会、 まさかり学 友会、遊友 ひがし、あ すなる尚友 会、十和田 あすなる 会)	
3	秋田県	あきた県民カレッジ	秋田県教育委 員会(秋田県 生涯学習セン ター)	市町村教育委員会、民間教育事業 者、高等教育機関、生涯学習関係 団体、県知事部局及び所管施設が 実施する各種講座	平成10年度	10,312千円	a.b.c	有	①スタンダードコ ース ②バイオニアコー ス	①4,317人 ② 63人	職業能力の向上やキャリア教育 に関する講座：126講座(IT、 TOEIC等語学・行政書士・宅建等 ビジネス実務、農業経営等)。実 施機関は前出の連携協力機関	不明。ただし県民カレ ッジ受講登録者数(学習 手帳公布者数)は8,604 人(16年5月31日)	有	不明。 (参考)主催 講座の各コ ース(90分 ×15回)、 6,000円	a.b.	有	・概ね90分を1単位 ・自己申告制 ・学習奨励証の授 与(100単位取得) ・称号授与(200単 位～生涯学習士、 300単位～生涯学 習マスター、500単 位～生涯学習ゴー ルドマスター) ・マナビスタッフと して76名(8グル ープが登録)	マナビ・ス タッフしら かみ、マナ ビ・スタッ フのみなみ、 マナビ・ス タッフ文 化、マナビ ・スタッ フ自然、マナ ビ・スタッ フArt、マナ ビ・スタッ フ広報(以 上8グル ープ)	平成19年度 で事業終了 予定～以後 の県民カレ ッジに代わ る学習提供 のあり方に ついて、マナ ビ・スタッフ を中止とした システムを 模索してい る。
4	宮城県	みやぎ県民 大学推進事業	宮城県 教育委員会		S60年度	11,842千円	a	無			高等学校開放講座615 (22校22機関25講座) 専門施設開放講座191 (6施設6機関6講座) 大学(私立・公立)開放 講座1,271(9大学12機関 13講座(専門講座④、短 期専門講座9) 大学(国立)開放講座 269(1大学5機関5講座) 生涯学習自主企画講座 573(6機関8講座) 生涯学習支援者養成講 座122 生涯学習活用養成講座 48 合計3,089講座	無	無	a.b	無	単位制度無し。各 実施機関が総時間 数の2/3以上出席 の受講者に修了証 交付。学習成果の 活用は県、市町村 配布の名簿等に登 録情報を掲載。	みやぎヒ ューマンライ フの会		
5	山形県	ゆとり都カレッジ	山形県	県文化環境部学術振興課:講座等 の調査 県生涯学習センター:学習情報誌 の発行、奨励証の交付	平成12年10月	4,757千円	a.b.c	有	地域学コース、生 活・環境コース、 健康・福祉コー ス、産業技術・情 報コース、国際理 解・交流コース、 芸術・文化コー ス、ボランティア コース、総合コー スの8コース	(平成15年度) 地域学コース46、生活・ 環境コース15、健康・福 祉コース16、産業技術・ 情報コース41、国際理 解・交流コース8、芸術・ 文化コース20、ボラン ティアコース5、総合コー ス58(全部で208)	(平成15年度) 県・・22(10.6%)、市町村・・28 (13.5%)、高等教育機関・・97 (46.6%)、その他関係機関・・61 (29.3%)	地域学コース2,557人、 生活・環境コース378 人、健康・福祉コース 916人、産業技術・情報 コース888人、国際理 解・交流コース170人、 芸術・文化コース440 人、ボランティアコース 225人、総合コース2,818 人の8,392人	有	有 料 175 (84.1 %) 500 円 ～ 80,000 円 (1,000円～ 5,000円が 多い) 実費のみ11 (5.3%) 無 料 22 (10.6%)	a.b	無	1時間1単位として 認定。ゆとり都カレ ッジに参画している 講座受講のあと、 学習カードに所定 項目記載そ単位分 シールを貼る。累 計単位が一定にな ったとき、奨励証を 交付。	無	